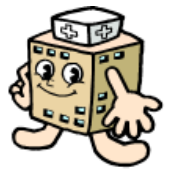


≪データの読み方≫



身体計測

川崎医科大学附属病院 健康診断センター

BMI	BMI (Body Mass Index) は身長と体重から求めた体格指数です。 25.0 以上は肥満、18.5 未満は痩せすぎ（るい痩）となります。
-----	--

眼科的検査

眼圧	眼球の圧力を測定します。緑内障で高値を示すことがあります。
眼底	眼球の奥にある血管・網膜・視神経を観察します。眼底の血管の高血圧や動脈硬化の程度を観察します。また、眼の病気の診断に使われます。

血液・尿検査

白血球数 (WBC)	白血球は細菌などから体を守る働きをしています。高値または低値の場合は感染症にかかっている可能性があります。また、喫煙者や肥満の人でも高値となることがあります。
赤血球数 (RBC)	赤血球は肺で取り入れた酸素を全身に運び、不要となった二酸化炭素を回収して肺へ送る役目を担っています。増加している場合は多血症、減少している場合は貧血が疑われます。
血色素量 (Hb)	血色素とはヘモグロビンのことで、酸素の運搬役を果たします。減少している場合、貧血などが考えられます。
MCV・MCH・MCHC	赤血球の大きさや赤血球に含まれるヘモグロビンの量などを示します。貧血の原因を推測することができます。
血小板数	出血した時、血を止める働きをします。減少している場合は血が止まりにくくなる事があります。
白血球分類	白血球には5種類（好中球、好酸球、好塩基球、単球、リンパ球）あり、様々な疾患、病態により影響(増減)を受けます。
Fe・TIBC・フェリチン	鉄欠乏性貧血の診断に用います。
血清総蛋白 アルブミン(A)グロブリン(G) A/G 比	血清中の蛋白はアルブミンとグロブリンに分けられます。栄養状態の指標や、肝疾患の程度を判定するのに役立ちます。肝臓・腎臓・血液疾患等により増減します。
総ビリルビン	肝胆道系疾患、溶血により上昇します。増加すると黄疸が出現します。
ALP	おもに肝胆道系および骨に異常があると上昇します。
γ-GTP	肝胆道系に異常があると上昇します。薬物やアルコールの過剰摂取でも上昇します。（飲酒による肝臓への影響がわかります）
ALT (GPT)	肝臓に多く存在する酵素で、肝障害の指標になります。
AST (GOT)	肝疾患、心疾患、筋疾患、血液疾患などで上昇します。
コリンエステラーゼ	肝臓で合成されるたんぱく質で、肝臓病の重症度が分かります。肝疾患などで低値を示します。
LDH	肝臓病、心臓病、血液疾患、腎臓病、筋疾患などで上昇します。
HBs 抗原	B型肝炎ウイルス感染の有無を診断します。
HCV 抗体	C型肝炎ウイルス感染の有無を診断します。過去にC型肝炎を発症した場合でも、陽性となります。
HCV-RNA	C型肝炎ウイルスの感染の診断に使用し、ウイルスの量が分かります。
血清アミラーゼ	膵臓と唾液腺に存在し、これらの臓器の炎症などにより上昇します。

血糖 (PG)	糖尿病などで上昇します。
HbA1c (NGSP)	過去1～2ヵ月の血糖値の状態を反映します。糖尿病の血糖コントロール指標の一つです。
グリコアルブミン	直近2週間の血糖コントロールの状態がわかります。
HDL コレステロール	善玉コレステロールとよばれるもので、少ないと動脈硬化の危険性が高くなります。
中性脂肪 LDL コレステロール nonHDL コレステロール	多いと動脈硬化を進行させ、心筋梗塞や脳梗塞を起こす危険性が高くなります。
クレアチニン	腎臓の機能が低下していると上昇します。筋肉量に比例するため、年齢や性別で差があります。
尿素窒素 (BUN)	腎臓の障害や脱水などで上昇します。
eGFR	クレアチニンの測定値をもとに年齢・性別から推算し、腎臓の機能を調べます。
尿酸	高い状態が続くと、関節痛（痛風発作）を起こしやすくなります。また、尿路結石も作られやすくなります。
K	血中に含まれるカリウムの量を表し、腎臓などの働きが悪くなると上昇します。
尿蛋白	腎臓の障害により増えます。腎炎、糖尿病腎症などが考えられます。
尿糖	尿中の糖の有無を調べます。
尿潜血	腎・尿路系疾患により増えます。
尿ウロビリノーゲン	肝疾患や胆道系（胆嚢や胆管）の疾患の指標になります。
CRP (C 反応性蛋白)	感染症等による炎症反応の指標です。
梅毒 (RPR・TPHA)	梅毒に感染しているかを調べます。
RA・抗 CCP 抗体	関節リウマチの診断に用います。
BNP	心不全を診断する指標になります。
便潜血	便中に含まれる血液の有無を調べます。大腸の疾患の診断に有効です。
TSH・FT4	甲状腺機能の評価に用います。
AFP (α フェト蛋白)	肝細胞がんの診断に用います。
CEA	おもに大腸がん、胃がん、肺がん、甲状腺がんの診断に用います。
CA19-9	おもに膵がん、胆のうがんの診断に用います。
PSA	前立腺疾患で上昇します。
CA125	おもに卵巣など婦人科領域疾患の診断に用います。
CYFRA・ProGRP	おもに肺がんの診断に用います。
Ca	血中に含まれるカルシウムの量を表し、おもに骨や歯の形成に使われます。
P	血中に含まれる無機リンの量を表し、カルシウムと共に骨を構成するための重要な成分です。
ペプシンゲンⅠ濃度 ペプシンゲンⅡ濃度 ペプシンゲンⅠ/Ⅱ比	萎縮性胃炎の診断に用います。胃粘膜の萎縮が強くなると、血液中の量が減少します。
抗ヘリコバクター・ピロリ IgG 抗体 (定性・定量)	ヘリコバクター・ピロリ菌の感染（歴）を調べます。

